



未来大賞

菊池 愛子

「30代シングルマザー、包括的性教育を学ぶ

—暴力のその後、援助未満の場所から再出発を考える—」

<要旨>

「シングルマザーは強い」と言われる。だが私が強くなることで得をするのは誰か——子どもだけでなく、責任を逃れる男性と、保障を怠る社会である。助産師を志し、包括的性教育から「からだの自己決定」と対等な関係を学んだ私は、子の声に応え正規職を手放した。これは挫折ではなく、暴力の連鎖を断ち切る再出発だ。児童扶養手当の壁や養育費不払い、ケア労働の低賃金に直面し、自己責任に依存する制度の歪みを見た。家庭内暴力も戦争も「安全を奪う暴力」という点で地続きである。援助未満の場所にいる人が孤立せず、強さではなく尊重と保障で支えられる社会へ——その実践と問いの記録。